

田中利典さんとさらしなの魅力を掘り下げ

さらしなルネサンスの特別企画「花の吉野・月のさらしな」の第2部は、午前の冠着山登山を踏まえながら、田中利典さんが吉野についてお話をしてくださいます。吉野がなぜ桜の名所になったのか。それは「桜の木から神仏の蔵王権現（ざおうごんげん）を彫り出した修験道があったから」。世界遺産への登録も、田中さんがまず手を挙げ、現在も修験道が受け継がれ、実践する人たちが吉野にはいることが評価されたそうです。

冠着山については「ふもとから見える姿や、岩場、そこから見える景観、たまたまいま、まさしく修験の行場だったことがうかがえる」とおっしゃいました。さらしなルネサンスの今後の活動については「この地に神仏を取り戻すことが大事」と助言がありました。それは、冠着山を聖なるものとして見直し、さらしなの里のシンボルであることをもつと感じていくことではないかと感じました。

田中さんの講演の後は、さらしなルネサンスのメンバーとの対談がありました。ルネサンス会長の大谷善邦は、さらしながなぜ古代から都人をはじめ、全国の人のあこがれの場になったのかについて、「さらしなという地名のすがすがしさに一番の理由がある」と話しました。奈良の吉野山とセットで月のさらしなをにセットにした和歌を平安末期から鎌倉時代初めの天皇の側近が詠みこんだのは、さらしなという地名のすがすがしき、吉野山の桜の花の白さ、そして身を清め、新たな自分にしていく修験道の精神性が背景にあると話しました。

会場の八幡公民館は、さらしなの里のちようど真ん中あたりにあり、扇のかなめ部分であるとして、今回の特別企画の場を選びました。百人をこえる方がおいでになり、ホールは満席になりました。



吉野金峯山寺の蔵王堂



雪の吉野山

ゆき白き四方の山辺をけき見れば
春のみ吉野あきのさらしな

み吉野や姨捨山の春秋も
ひとつにかすむ雪のあけぼの



追分宿・分去れの碑



江戸時代の分去れの碑

さらしなは右みよし野は左にて
月と花とを追分の宿

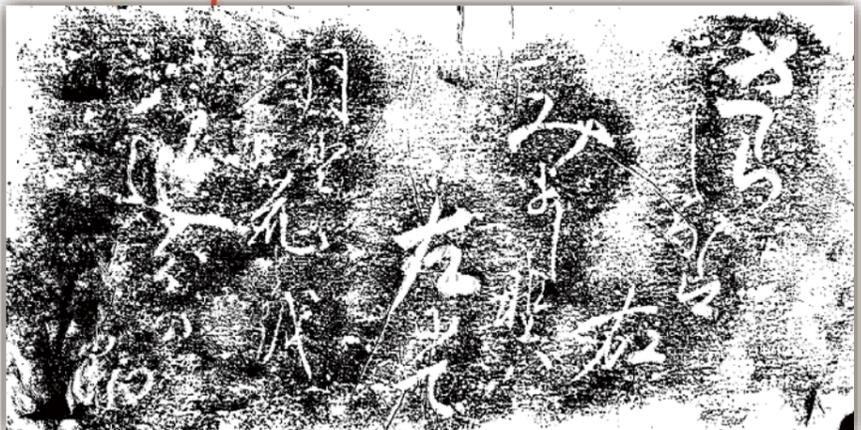
吉野とさらしなの
深い関係を伝える
分去れの碑(軽井沢追分宿)

世に名高い分去れの碑

古来「桜の花の都」として愛でられてきた奈良県・吉野。その「吉野」と「さらしな」を対等ならべ、さらしなの里で見られる月の美しさを強調する石の道標が、長野県軽井沢町の追分宿にあり、「追分の分去れ」と呼ばれます。

追分は江戸時代は宿場でにぎわったところで、江戸から中山道来た人にとって、向かって右は新潟や北陸方面に向かう北国街道、左は京の都へとつながる中山道のちようど分岐点でした。常夜灯やお地藏さんなどいろいろなる石造物があるのですが、「子持ち地藏」が座っている台座の正面に下図(画像・拓本)のような文字が刻まれています。

「みよしの」は、漢字をあてると「御吉野」。奈良県の吉野(山)のことを敬愛をこめて呼ぶときの言い方で、ここから右に行くと「月が美しいさらしなの里」があり、左に行くと「桜の美しい奈良県の吉野の里」がある、月と花の名所それぞれが楽しめるのがこの追分の宿場である、という意味です。



軽井沢追分宿に建つ分去れの碑の拓本



後醍醐天皇が南朝の拠点とした場所、吉野朝宮址



後醍醐天皇の玉座の間(吉水神社)

修験道の聖地吉野
吉野は奈良県の中央部、吉野町にあり、修験道のメッカである金峯山寺を中心とした社寺がいくつもあります。二〇〇四年には吉野山とその周辺の霊場、参詣道がユネスコの世界遺産に登録されました。吉野山は修験道の開祖とされる役行者が西暦七〇〇年ごろ、桜の木で蔵王権現を彫ったことから、桜がご神木になりました。そのため、利益を目的に切ることができず、桜細工は地元では作ることができなかつたそうです。そこで山桜がたくさんある信州の業者がつくって持ち込んでいました。

霊峰 冠着山
当地の冠着山(別名・姨捨山)も修験道の霊峰だったところ。日本では古来、山は神様の住むところと神様そのものが加わり、奈良時代になると山に入り修行する人たちが増えました。信州での修験道のメッカは戸隠山ですが、冠着山は戸隠山とくらべて里に近く、容易に入山できるので、「ミニ戸隠山」として修行者の集まることとなりまし。

天皇家の信仰篤い吉野
吉野はまた日本の礎を築いた天武、持統、後醍醐天皇など日本の礎となった天皇が信仰を寄せた特別な聖地です。

吉野とさらしなの和歌
へにけりなことも春をみ吉野の
いまさらしなに秋のふくるまで
み吉野や姨捨山の春秋もひとつに
かすむ雪のあけぼの
ゆき白き四方の山辺をけき見れば
春のみ吉野あきのさらしな

これらの歌は平安時代末から鎌倉時代初めを生き、新古今和歌集を編纂した天皇の側近貴族、九条良経が詠みました。新しい時代が始まる清々しさと躍動感を、天皇家の聖地である吉野と、純白のイメージがどても強いさらしな合わせること、より強調した可能性があります。